

■平成27年度決算概要について

このたび、平成27事業年度（第12期）の財務諸表並びに決算報告書等が、平成28年6月28日付けで文部科学大臣に承認されましたので公表いたします。財務諸表は国立大学法人の特性を配慮した「国立大学法人会計基準」等に則り作成しております。

【貸借対照表】

・当期末の資産合計は約1,589億円となっており、基幹整備事業（中央監視装置等更新、エレベーター更新）、越中島・塔の山住宅機械設備改修、血管撮影装置の新規リース・割賦払い契約等による建物・工具器具備品の増加、減価償却の進行による減少、これらを相殺した結果、前期末比約29億円の減少となっております。

・当期末の負債合計は約388億円となっており、新規借入による長期借入金の増加、借入金（国立大学財務・経営センター債務負担金）の返済による減少、未払い金の減少等の相殺により、前期末比約36億円の減少となっております。

・上記資産と負債の差額が純資産となっており、当期末は前期末比約7億円増加の約1,201億円となっております。

【損益計算書】

・経常費用が約552億円、経常収益が約572億円となっており、この差額が経常利益約20億円となっております。この経常利益から、臨時損失、臨時利益及び目的積立金取崩額を加算すると、当期総利益が約21億円となります。

※当期総利益は、費用に借入金返済の元金相当額が含まれないなど、現金ベースの収支差を表すものではありません。（観念的利益）

■貸借対照表（要約）

	26年度	27年度	対前年度比
（資産の部）			
固定資産	145,976	143,153	△ 2,823
有形固定資産	143,913	141,098	△ 2,815
土地	87,448	87,441	△ 7
建物	45,796	43,928	△ 1,868
構築物	186	191	5
工具器具備品	9,420	7,997	△ 1,423
その他有形固定資産	1,062	1,539	477
無形固定資産	238	232	△ 6
投資その他資産	1,825	1,821	△ 4
流動資産	15,833	15,744	△ 89
現金及び預金	8,164	8,919	755
未収附属病院収入	5,705	5,940	235
その他未収入金	639	106	△ 533
有価証券	700	200	△ 500
医薬品及び診療材料	575	548	△ 27
その他流動資産	47	30	△ 17
資産合計	161,810	158,897	△ 2,913

国府台地区における土地売却により、減少しております。

減価償却の進行等により、減少しております。

附属病院収入の増加等に伴い、「現金及び預金」・「未収附属病院収入」は増加しております。

短期保有の有価証券を長期保有の有価証券へと保有目的区分を変更したこと等により、減少しております。

当期末の資産合計は約1,589億円となっており、前期末比約28億円の減少となっております。この主な増減要因として、附属病院の基幹整備事業（中央監視装置等更新、エレベーター更新）、越中島・塔の山住宅機械設備改修等により建物の資産価値が約7億円増加、血管撮影装置の新規リース・割賦払い契約、医療情報ネットワークシステム更新等により工具器具備品が約12億円増加する一方、減価償却の進行による減少が約52億円あり、これらを相殺した結果、固定資産は約28億円の減少となります。

次に、流動資産が約9千万円減少しておりますが、これは附属病院収入の増加に伴い附属病院における未収金が約2億円増加、現金及び預金が約8億円増加する一方、有価証券売却により約5億円減少、翌年度入金補助金精算払い等の減少により、その他未収入金が約5億円減少したことによるものです。

(単位：百万円)

	26年度	27年度	対前年度比
(負債の部)			
固定負債	26,273	23,456	△ 2,817
資産見返負債	5,435	4,893	△ 542
財務経営セクタ-債務負担金	13,981	11,474	△ 2,507
長期借入金	3,431	4,137	706
その他固定負債	3,424	2,950	△ 474
流動負債	16,117	15,362	△ 755
運営費交付金債務	315	-	△ 315
寄附金債務	3,362	3,652	290
一年以内財務経営セクタ-債務負担金	2,834	2,507	△ 327
未払金	7,471	6,951	△ 520
その他流動負債	2,133	2,251	118
負債合計	42,390	38,818	△ 3,572
(純資産の部)			
資本金	75,912	75,909	△ 3
資本剰余金	15,050	13,658	△ 1,392
利益剰余金	28,456	30,512	2,056
純資産合計	119,419	120,079	660
負債・純資産合計	161,810	158,897	△ 2,913

国立大学法人会計特有の勘定科目で、資産を取得する際に同額を負債として計上し、減価償却費が発生した際に同額を取り崩して損益均衡を図るものです。

国立大学財務・経営センターに対する借入金残高(元本)は、合わせて約181億円となります。

翌年度に支払わなければならない金額です。前年度の附属病院の基幹整備事業の改修工事等の影響により減少しております。

当期末の負債合計は約388億円となっており、前期末比約36億円の減少となっております。この主な増減要因として、新規借入による長期借入金が増加した一方、借入金を返済したことにより、国立大学財務・経営センター債務負担金(一年以内含む)が約28億円減少、翌年に支払われる未払金が約5億円減少したことなどによるものです。

資産と負債の差額が純資産となっており、当期末は前期末比約7億円増加の約1,201億円となっております。

■ 損益計算書（要約）

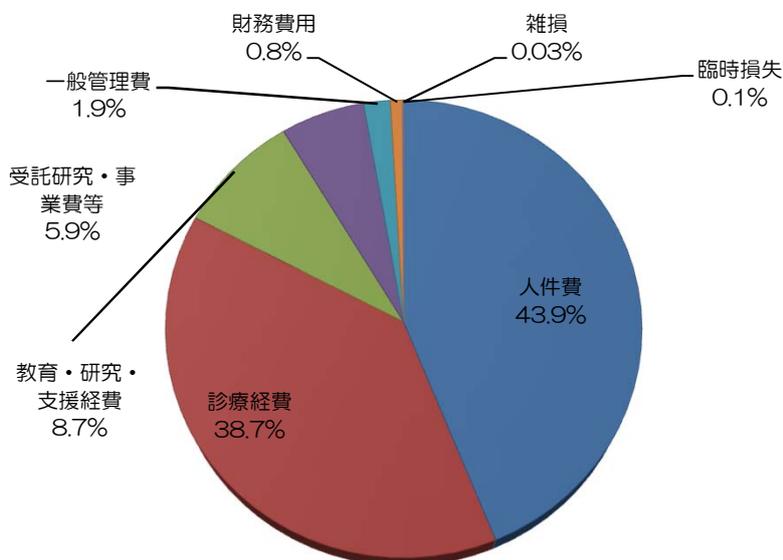
前年度に行った歯科棟北の改修工事、7号館改修工事等の影響により減少しております。

附属病院収入の増収に伴う医薬品費・診療材料費等の影響により、増加しております。

借入金返済の進行に伴い、利息が減少しております。

当期総利益として約21億円を計上しておりますが、これは費用に借入金返済の元金相当額が含まれないなど、現金ベースの収支差を表すものではありません。
 （観念的利益）
 本学の経営努力により捻出した利益（目的積立金）は約1千7百万円で、文部科学大臣の承認後に、本学が利活用できる資金となります。

費用	26年度	27年度	対前年度比
経常費用	55,826	55,217	△ 609
業務費	54,227	53,707	△ 520
教育・研究・支援経費	5,997	4,814	△ 1,183
診療経費	20,685	21,405	720
受託研究・事業費等	3,678	3,257	△ 421
人件費	23,866	24,231	365
一般管理費	1,011	1,038	27
財務費用	583	457	△ 126
雑損	2	14	12
臨時損失	51	32	△ 19
当期総利益	1,744	2,055	311



(単位：百万円)

収 益	26年度	27年度	対前年度比
経常収益	57,308	57,211	△ 97
運営費交付金収益	13,998	13,406	△ 592
学生納付金収益	1,706	1,643	△ 63
附属病院収益	32,157	34,102	1,945
受託研究・事業等収益	3,679	3,264	△ 415
補助金等収益	1,128	1,124	△ 4
施設費収益	628	80	△ 548
寄附金収益	1,267	1,187	△ 80
資産見返負債戻入	1,423	1,247	△ 176
その他の収益	1,317	1,155	△ 162
臨時利益	46	94	48
目的積立金取崩額	268	-	△ 268

運営費交付金の交付額が減少したため、減少しております。

国立大学法人特有の会計処理による影響（固定資産取得時の資産見返勘定への振替処理）によるものであり、現金ベースでの収入に大きな増減ありません。

手術件数の増加や差額室料の増加等による診療単価の増及び患者数の増等により、増加しております。

国立大学法人特有の勘定科目であり、資産の減価償却費に対応して計上することにより、損益の均衡を図るものです。

